

一般質問から

山林の整備について

(質 問) 地域の高齢化が進み、山林に手が入らず、密林や倒木が放置されている山が目立ちます。

皆野町では、この10年間に大雨や大雪などにより、小規模な土砂災害がくり返され倒木やそれに伴う土砂崩れなどがふえ危険度が増しています。山林の整備について早急に取り組む必要があります。

① 2月の大雪対策の進捗状況について、2月議会で道路わきの山林について早急に対策をとるといふ答弁でしたが、どこまで進んでいますか。

②平成23年「皆野町森林整備計画」に基づき、現在林業の振興と森林の保全についてどう進められていますか。

(答 弁) ①日野沢藤原については、おおむね所有者から同意が得られそうなので、伐採にむけて9月議会で補正予算等を組む予定です。

② 林の保全については、手が入らず大水・大雪によって状況が

ひどくなっているのは指摘されたとおりです。

人工林の4分の1は契約の公社林・県造林で整備されていますが、約75%は個人所有の山林で、ほとんど手が入っていません。今後、町・埼玉県・秩父農林振興センター・秩父広域森林組合・森林所有者と連携して森林の適正な整備について検討していきたい。

(再質問) 山林の災害を防ぐため、専門家による山の調査を行い、危険度の高いところから町が主体的に整備をおこなう必要があります。

(答 弁) 個人の山林にどれだけ町が助成していったらよいか課題ですが、今後も振興センターと連携し、上部にも強く要望していきたいと思えます。

地域循環型経済の

取り組みについて

(質 問) 給食の食材については、現在地元で取れたものも使われていますが、さらに生産者と連携し、計画的に種類や量を増やすな

ど、地域循環型経済の取り組みをいっそう進めていただきたい。

(答 弁) 今後、野菜の種類や量を増やすべき、給食センターと農産物直売部会と作付、出荷計画等連携をすすめていきます。平成25年度給食センターで使われた、皆野産野菜は8品目(玉ねぎ、ジャガイモ、キャベツ、長ねぎ、白菜、大根、サトイモ、ほうれん草)で全野菜の12.9%、使用量は減少傾向です。

一 要 望

給食センターは、まず第一に皆野産野菜の使用を考えています。町はまず生産者の育成、作り手を増やし、給食の食材をもっと地元でまかない、それが働く人の収入となり生きがいにもつながります。それが地域循環型経済です。しっかりと進めていただきたい。

「海外で戦争する国」にする

集団的自衛権に反対です

日本共産党

議員のひびき

常山 知子



ことし2月から、皆野町商工会女性部のコースに参加しています。ある日「今度、女性部の総会があるので、その時何か話してもらえませんか」と声をかけられました。「ハイーわかりました」と軽い返事。でも私でいいんですか?そんな思いはあったのですが……。30分もの時間、何を話せばいいの? どんどん時間は過ぎていきました。

そして……。6月13日。皆野町商工会女性部の総会が行われました。

参加されている方々の名簿をみるとそうそうたる方ばかり、あとは夢中でした。商店でがんばっている方、会社経営でがんばっている方。

どれだけ私の町づくり思いが伝わったかわかりませんが、この町を元気にしたい、希望ある町にしたいという思いは誰にも負けません。

最後に女性がもっと力を出して、どうしたらよいか考えましょう。色々なアイデアと知恵を出して!と結びました。

生活・法律相談

お気軽にお声をかけてください

常山 知子 TEL 02-6733